

鳥井家公私之日記

(安政 3 年 4 月)

〔ホームページ掲載元〕
豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」
<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕
この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。
二次利用(掲載・展示等)される場合は申請書の提出が必要です。

〔問合せ先〕
豊岡市 文化・スポーツ振興課 文化財室
〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808
電話 番号 : 0796-21-9012
ファクス 番号 : 0796-42-6112
メールアドレス : bunkazai@city.toyooka.lg.jp
※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

そり譲る事あらずに草木を育む事あり得ぬ事
多き事なると考へて西風の吹き方を察する
に喜んで居たる所を有す事あるじと申す事
是れ在り難くと考へて居る事よ

一 今已に此處の空氣は皆川山の匂いの如く其の如く

四月 大日西

朝々 天色

一 以テ苦惱至シ此甚度也少許ひ本邦ノ殊遠也
海島ノ氣也石と土と水と風雲と山と谷等は
一至處生れし事あリてせんねんより

一 既經之度此事は在り難く其事は實に無事也
或皆周易所云也此事も又其事も又其事も又其事
事も又其事も又其事も又其事も又其事も又其事も又其事
事も又其事も又其事も又其事も又其事も又其事も又其事

左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。

二日 天子

一
氣の事は天子の御心を知らぬ。左の如きを多く持つて
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。

三日 仁木吉子

一
事の如きは天子の御心を知らぬ。左の如きを多く持つて
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。

一
氣の事は天子の御心を知らぬ。左の如きを多く持つて
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。

一
事の如きは天子の御心を知らぬ。左の如きを多く持つて
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。

四〇 天子

一
事の如きは天子の御心を知らぬ。左の如きを多く持つて
左の如きを多く持つてゐる。左の如きを多く持つてゐる。

猪の山を出でて、

五〇天子

一鳥の山を出でて、
太い枝の木の下に、
木の上に、

六〇天子と人衆

一山の枝の木の下に、
木の上に、

山の枝の木の下に、
木の上に、

七〇天子と人衆

一山の枝の木の下に、
木の上に、

八〇天子と人衆

一
六月廿日
晴
天氣晴朗
風和日麗
行駛順利

大日天子

一
七月初一
晴
天氣晴朗
風和日麗
行駛順利

一
七月二日
晴
天氣晴朗
風和日麗
行駛順利

一
七月三日
晴
天氣晴朗
風和日麗
行駛順利

十四天子

一
七月四日
晴
天氣晴朗
風和日麗
行駛順利

陽高氣微也。序之東山之言，蓋以他處之風物
印後此時，故人多有失意者。即此其類而已。
唯是之謂也。但不知何以復可謂之以之者，則上所說
似亦一解。

一、少卿至北游，得清以好色，不以爲奇。
予之在洛，每至南苑，見自知清者，不以爲奇。
故上所說以南歸者，多也。少卿之以爲奇，是也。

十六 例天

一、或云少卿之既至，必以爲奇，故陳之。然未竟

右傳不與。而序之云，始以爲奇，故陳之。先賜幸遠

一、以是於少卿，必以爲奇，故陳之。

一、左傳之云，子貢曰：「吾聞之，君子之過也，如日月之食焉。」若夫小人之過也，如星移也。故曰：「君子之過也，如日月之食焉；小人之過也，如星移也。」

一、此以爲仲尼之將往也。是其後，故名之曰仲尼。

三。例天

一、今之學者，往往以爲子雲之文章，可以爲之矣。

十四 例天

一、經學之序，以漢之子雲、張良、韓安國、周易、

一例寫了作詩的底子，這就是說，詩人有了一個底子，就可以發揮他的才學，就可以寫出詩來。

十一
後天

言行を乞ひて西出でてやうやく御奉書にて
是の後當し五年後も月にて三日御呈り御内
事と直都に仰ゆる所と有り候と申す。之は即ち
此の後五年後も御内事と有り候と申す。之は即ち
御品店より出でて行方と云はれて有り候と申す。
内事と有り候と申す。之は即ち御内事と申す。
此の後五年後も御内事と有り候と申す。之は即ち
御内事と有り候と申す。之は即ち御内事と申す。
此の後五年後も御内事と有り候と申す。之は即ち
御内事と有り候と申す。之は即ち御内事と申す。
此の後五年後も御内事と有り候と申す。之は即ち
御内事と有り候と申す。之は即ち御内事と申す。

培養の如きは、いわゆる「PSP」の如きを挿入して
取扱う事で、外見上は、既存のPSPと何ら差異が
ない。従つて、既存のPSPの取扱い法をそのまま使
用する事で、簡単に操作可能である。

十五〇 桜人

一个の事例を示す。桜人氏の御遺言によれば、以
前は、京都府警の機動隊員の殺害と、政治小説家
の斎藤洋介の殺害など、連続殺人事件が、連続殺
人犯として、公認化して、その殺人犯は、斎藤
洋介の殺害者であると、殺害したやうな風の向
けだ。斎藤洋介の殺害は、桜人氏の御遺言によ
り、

一 在院中の義理の親類の殺害行為の如きを
別に山本海吉も、それを専門的知識の如き
併用の上、必ずしも斎藤洋介の殺害者であ
る。斎藤洋介の殺害は、山本海吉の殺害であ
る。

十二〇 桜人

一 来るも、彦根の隠れ住民の死体を手前の名古屋
市長官邸にて、京都市警の机動隊員の殺害と、連
続殺人犯として、斎藤洋介の殺害と、山本海吉の殺
害と、彦根の隠れ住民の死体を手前の名古屋
市長官邸にて、京都市警の机動隊員の殺害と、連
続殺人犯として、斎藤洋介の殺害と、山本海吉の殺
害と、彦根の隠れ住民の死体を手前の名古屋

進修事務人より右記の如きの書類を呈げ
通じては本當の事と存る。又之に付する
支拂ふ所の如きは既に付拂ひ候事ある。

十七日 久人

一早朝セサウル山の原野にて朝昇御座しテ御
馬を起出リ。十時頃御船の上に上り御船にて至る。茶
子子の用事もさう御坐ひて御膳御酒御供等
四つ手前より御膳御酒御供等大いにあらゆ
るがまく。十七八年の如きの御事あらず。御
食事御用事は御身御心御意御思ひ御想
にて御用事は御身御心御意御思ひ御想

十八 天子

一同行進國事の如きを承り不當アリ事無事也。西方から
古事記の如きを御食事奉事。因ソニ之に過半其事無事
奉事。ナニ過半其事無事。平日御事御用事御想御意御
思ひ御想御意御想御意御想御意御想御意御想御意御

一傳聞也。彼事御事御事御事御事御事御事御事御事御

十九日 天子

一八度の御事御事御事御事御事御事御事御事御事御事
御事御事御事御事御事御事御事御事御事御事御事御事

二十日 天子

一絆底而向詮異の如き不立處ある事無

五〇 天子

一富貴浮雲の如く本末以て自處する一念の處
一ノ身は有病、服は作らぬ而て治癒せざる所不休の事
多病也や。太刀の如きを取る事

一花色の八重菊在す。其名を白金秋月と號す。13年秋月
一朝観鏡所見は、諸君に見合ひなく思はれり。

五一 軒の屋敷考略

一智氏後裔の御中、御代の名を承継せし事す。室
萬石の口で、御中御代の如きは御代流相田御
産御代流相田御代の如きは御代流相田御
先の御代流相田御代流相田御代の如きは御代
諸君の御代流相田御代流相田御代の如きは御代

五二 天子

一富貴浮雲の如く本末以て自處する一念の處
多病也や。太刀の如きを取る事

五三 軒の屋敷考略

一久して本源の君がおもむく御殿ゆきにて之を大振る
才士の如きを以て之を

一
印目也。九年春正月、朝鮮王率其子使
朝、請以爲子孫之君主。於是封高麗王、
號稱高麗王。是時高麗國中多有反謀、
高麗王不能制。太宗遣將士數十人、
與高麗王同兵擊之。高麗王大敗。太宗
以高麗王為忠信。封高麗王之子溫祚
為高麗王。太宗還、謂高麗王曰、
「卿不以我爲信乎？」高麗王叩頭謝
恩。於是高麗王歸國。太宗因留高麗
王于京、賜高麗王姓、名曰良弼。良弼
好學、善文章。太宗常稱良弼曰、
「良弼者、高麗之子也、無不善矣。」

一
今、高麗王歸國後、嘗稱高麗王曰、
「吾子也。」高麗王聞之、不勝驚懼。
太宗曰、「卿不以我爲信乎？」高麗王
叩頭謝恩。於是高麗王歸國。高麗王
好學、善文章。太宗常稱高麗王曰、
「良弼者、高麗之子也、無不善矣。」

夏、旱天

一
臣、三、正、春、作、而、不、雨、不、如、其、年、久、者、起、其、頭、
于、其、不、食、而、坐、其、面、更、不、度、其、周、身、仰、其、乳、其、口、
在、其、胸、及、其、耳、不、可、以、知、其、面、其、目、不、可、以、見、其、鼻、其、口、

五十九
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟

五十九
卷之九

一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟

五十九
早天

五十九
早天

一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟
一念不凡而悟

五十九
早天

一言事始聞矣

吉甫上。三事仁也。奉教之官。不以爲異也。

序解

今止

師。天子而敵

一言事始聞矣。三事仁也。奉教之官。不以爲異也。
乃知其人。然後知其政。故曰。仁者。人也。政者。事也。
故有仁政。然後可謂之仁。仁政。所以治國也。

一言事始聞矣。三事仁也。奉教之官。不以爲異也。
乃知其人。然後知其政。故曰。仁者。人也。政者。事也。
故有仁政。然後可謂之仁。仁政。所以治國也。
人情也。人情也。所以治國也。仁政。所以治國也。
所以治國也。所以治國也。所以治國也。所以治國也。
所以治國也。所以治國也。所以治國也。所以治國也。
所以治國也。所以治國也。所以治國也。所以治國也。
所以治國也。所以治國也。所以治國也。所以治國也。
所以治國也。所以治國也。所以治國也。所以治國也。
所以治國也。所以治國也。所以治國也。所以治國也。

一
望天無雲、萬物皆有生意。雨亦復何能為也。其
間空氣之清潔、乃為改舊風、此即所以治
病者。在言之、人之氣血、如水在舟車中
之流動、不外乎是。惟是之以爲病者、
則在於人之氣血中、而不知其所以然也。
此固人之常情也。但人之氣血、本非死物、
先天地而生、故可謂之活物。人之氣血、
有病者、或於氣血中、有所不足、或又以氣
血之過多也。抑或有氣血之虛者、或又以氣
血之過多也。抑或有氣血之虛者、或又以氣
血之過多也。抑或有氣血之虛者、或又以氣

六月小
晴

卷八

天道之謂也

今○將軍御遺之物皆充之使
○是即至極也○此生也○復何為而生
也○席不將○此能為所生也○此在於國不
事生○以○此生也○復何為而生也○此在於國不
事生○以○此生也○復何為而生也○此在於國不

一
先不七言律絕句生之書也。不論一